

温かいご支援ありがとうございます

維持会員

大沢内科クリニック 山元醸造株式会社	可西舞踊研究所 米原商事株式会社	学校法人富山音楽院 リードケミカル株式会社	株式会社内山精工
安念 ゆたか 栗谷 恭三 田中 之子 松本 喜二	五十嵐 大霧 栗谷 良野 中川 洋司 宗景 昭	井上 五三男 黒川 雅皓 西野 正彬 村井 俊夫	大楠 匡子 酒井 和佳子 林 攻 本木 英子
重松 秀子 島 美恵子 林 美和子 山本 郁夫	金山 茂人 島田 修 平井 岑生 横野 昭	貴堂 義晴 島田 典故 舟本 幸人 和田 朝子	久郷 秀男 高松 真 細川 キヨミ

会友

五十嵐 晃子 正満 志貴子 堀田 多聞	石野 雅子 城川 久美子 前田 玲子	桐島 秀郎 高橋 睦美 蓑口 睦子	桐島 有紀子 豊谷 節子 桃野 瑞恵	黒田 義昭 中野 多賀子 山辺 美嗣	小泉 貴義 中野 裕 吉田 康子	近藤 雪子 幅田 信義 (終身)	酒井 淳子 林 悦子
浅岡 弘彦 大野 久芳 角 光則 工藤 泰子 柴原 富美子 武田 慎一 土井 洋子 林 紀代美 丸岡 ひとみ 山本 壽美	我妻 眞美 岡 明佳 上岸 泰子 窪 邦雄 杉山 満子 橘 早苗 東海 希代里 林 こと子 丸杉 國子 山田 晴子	井加田 まり 岡田 明日香 亀ヶ谷 佳子 窪田 早紀 清田 尚登 田中 憲子 長江 登美子 林 晴美 宮本 光明 四方 正治	池田 笑子 岡田 京子 河合 秀子 栗谷 修輔 瀬川 美映子 田中 礼子 中川 忠昭 中川 忠昭 村 育子 横山 栄	石川 寛子 奥野 詠子 川崎 昌博 小泉 量裕 高尾 真澄 谷井 よう子 永森 直人 開 恵子 森田 夏海 吉田 桂子	稲沢 静子 表 啓子 喜多 和代 小泉 邦子 高野 理恵 谷井 美夫 西嶋 茂子 平田 義人 矢後 肇 米原 蕃	井上 学 加藤 淳 北島 眞知子 小西 昭美 高橋 真由美 谷村 啓子 西田 満寿子 藤井 裕久 山上 正隆	内山 節子 加藤 純子 癩師 富士雄 米屋 万美子 高松 静子 土井 治美 畠 啓子 松井 雅栄 山口 翰

オペラ協会芸術会員

浅岡 節夫 内山 太一 金川 睦美 近藤 洋平 谷村 清香 森川 有紀 四津谷 泰子	安念 千重子 大森 洲季 金森 敏子 澤武 紀行 中沖 いくこ 森下 泉 利田 みさき	安念 奈津 岡本 麻里菜 川崎 嘉昭 清水 香里 長谷 和美 森清 篤実 渡辺 洋輔	伊東 康孝 小澤 眞琴 串田 淑子 清水 慧衣 久田 潤 安田 裕美	岩井 理花 加藤 徹 黒川 真理 白銀 裕子 平井 香織 山本 千鶴	碓井 絵美 加藤 恵 黒崎 隆憲 竹内 雅拳 福田 光太郎 山本 有希子	碓井 智子 加藤 與志子 護摩堂 謙一 辰巳 光子 松崎 加代子 横内 桂子	内田 陽子 門田 宇 護摩堂 若 辰巳 陽彦 丸山 美由紀 吉森 祐也
--	---	--	---	---	---	---	--

～富山県オペラ協会 ご入会のお誘い～

富山県オペラ協会は、オペラの研究と公演活動に情熱を持って参加して下さる方や、オペラを愛し温かいご支援をいただける次のような方々を広く募集しています。

維持会員

オペラ協会の活動に温かいご支援をいただける法人または個人。総会の議決権を有します。
[年会費]
法人会員…1口/3万円
個人会員…1口/1万円

会友

オペラ公演活動を応援して下さる個人。当会より演奏会のご案内を送付いたします。
会友(終身)…会費1口/5千円
会友(1年毎)…年会費1口/1千円

芸術会員

声楽家、演奏家、舞台関係者で、当会の公演に直接携わる方、または将来を期待される方。審査があります。総会での議決権を有します。
[年会費]…1万円

富山県オペラ協会合唱団員

当協会の公演に出演していただきます。
[練習場所]
富山市民芸術創造センター 他
[練習日]日曜日 午前(月2回程度)
[年会費]…1万円

お申し込み
お問い合わせ

富山県オペラ協会事務局

〒933-0007 富山県高岡市角319-1 白銀方 TEL/FAX 0766-25-6659 E-mail:toyamaopera2012@gmail.com

編集・発行 とやま舞台芸術祭実行委員会事務局

〒930-0096 富山市舟橋北町7-1 富山県教育文化会館内 (一社)富山県芸術文化協会
TEL.076-441-8635(内線123) FAX.076-442-4635 E-mail: info@tiatf.or.jp URL: http://www.tiatf.or.jp

大晦日の奇蹟
オペラ
笠地蔵

安念千重子プロデュース

邦人作曲家の世界 (平井康三郎・團伊玖磨・中田喜直・真島圭)

2016年

12月4日(日) 富山県教育文化会館

午後2時開演

[主催] とやま舞台芸術祭実行委員会

[共催] 一般社団法人富山県芸術文化協会、富山県、公益財団法人富山県文化振興財団、富山市、公益財団法人富山市民文化事業団、南砺市、北日本新聞社

[後援] 富山県邦楽協会、富山県オペラ協会、富山県日本舞踊協会、富山県洋舞協会、富山県舞台技術研究会、富山新聞社、北日本放送、富山テレビ放送、チューリップテレビ、一般社団法人富山県ケーブルテレビ協議会、とやまソフトセンター

とやま舞台芸術祭 2016

総合プロデューサー：舟本 幸人

Program

〈第一部〉

邦人作曲家の世界

〈平井康三郎・團伊玖磨・中田喜直・真島圭〉

◇山本 千鶴（中田喜直作品）

すずしきうなじ 霧と話した おやすみ ゆく春

◇竹内 雅孝（真島圭作品）

冬の旅 早春散歩 孤独さということ

◇金川 睦美（團伊玖磨作品）

笛 オペラ「夕鶴」より ～与ひょう、私の大事な与ひょう～ ～さようなら～

◇黒崎 隆憲（平井康三郎作品）

ふるさとの 平城山 祭もどり 追分 あの子 この子 九十九里浜

ピアノ：竹内 佳代 玉井 恵子

〈第二部〉

安念千重子プロデュース

オペラ 笠地蔵 大晦日の奇蹟

台本・演出：中村 敬一 作曲・指揮：松井 和彦

[キャスト]

じいさま：吉森 祐也

ばあさま：護摩堂 若

六地蔵：加藤 恵 四津谷 泰子 碓井 智子 辰巳 陽彦 護摩堂 謙一 渡辺 洋輔

野菜売り：久田 潤 薬売り：黒田 雄一郎 魚売り：古村 勇樹

飾り売り：橋 日奈子 餅売り：高木 悦子

合唱：富山県オペラ協会合唱団 ピアノ：丸山 美由紀

ナレーション：安念 千重子 副指揮・合唱指揮：福田 光太郎

祝 辞



富山県知事

石井 隆一



ごあいさつ



一般社団法人富山県芸術文化協会会長

吉田 泉



このたび、「とやま舞台芸術祭2016 オペラ公演「笠地蔵」～大晦日の奇蹟～」が開催されますことを心からお祝い申し上げます。

「とやま舞台芸術祭」では、これまで、優れた舞台芸術の創造と交流を目指して、県内芸術文化団体等による数多くの素晴らしい舞台が繰り広げられてきました。

今年度も、10月に演劇の聖地として世界的に知られている利賀芸術公園において、洋舞公演「全日本地域選抜モダンダンス・ガラ・イン利賀2016」や「日舞・洋舞・邦楽公演」が開催され、ご来場の皆様に大きな感動を与えたところです。

本日は、日本の名作童話を基にしたオペラ「笠地蔵」に加え、「邦人作曲家の世界」の公演が行われ、芸術性あふれる意欲的な作品が披露されると伺っています。

オペラは、音楽に演劇や絵画の要素も加わり、歌唱、演奏、舞台美術、照明などが一体となって、一つの舞台を創り上げる総合芸術と言われています。県内芸術文化活動の拠点となっている「富山県教育文化会館」を舞台に、富山県オペラ協会会長である安念千重子先生がプロデュースされる本公演は、先の公演同様、必ずやご来場の皆様に魅了し、深い感銘を与えるものと確信しています。

終わりに、開催に尽力されました一般社団法人富山県芸術文化協会をはじめ関係の皆様へ深く敬意を表しますとともに、本公演のご盛況と皆様方の今後ますますのご健勝、ご活躍、ご多幸をお祈り申し上げます。

第一回オペラ公演「フィガロの結婚」（2011年）から始まって「ヘンゼルとグレーテル」そして「魔笛」と、そのつど着実に業績を積み重ねてきた富山県オペラ協会の第4弾オペラ「笠地蔵」（とやま舞台芸術祭2016）が、このたび安念千重子会長のプロデュースのもとに公演の運びとなったことを心より嬉しく思い、一日千秋の思いで開幕を待っていました。

今回上演のオペラの特徴の一点目は、出し物がオペラ協会として初の「和もの」であるという点です。オペラ「笠地蔵」は私たち日本人の心の奥底にある素朴な民話劇に基づいていますが、生きていくうえで大切なことを実に多く教えてくれる真心の物語でもあります。二点目は、これが合唱オペラであるということです。合唱は、富山県オペラ協会合唱団が2014年「魔笛」の際に創設されていますが、今回いよいよその本領を発揮していただけることにも、多大なる期待を寄せています。ソリストの方々の準備も着々と進んでいると仄聞しています。

台本を書いていただいた中村敬一先生が直接演出もされ、その上この「オペラ笠地蔵」の作曲者である松井和彦先生が、これまた指揮もして下さるというのですから、もう素晴らしい仕上がりになることは間違いありません。同時に「邦人作曲家の世界」と題して、オペラ協会の実力派の方々によって、必ずや私たちの心の琴線に触れる名曲が歌われることでしょう。

こうして富山県オペラ協会が中心となって富山のオペラと音楽の歴史がますます充実していくことに限りない喜びを感じています。

ごあいさつ



富山県オペラ協会名誉会長

浅岡 節夫

日本の民話のたのしみ

第四回富山県オペラ協会のオペラ公演ようこそご来場下さいまして有難うございます。

オペラ「笠地蔵」は台本作家でもあり、今回演出担当でもある中村敬一氏と作曲家である松井和彦氏が指揮という形で公演されますが、内容は判り易く合唱もあり面白い作品です。

この作品は、練習に於いて、細かい部分まで、両先生のきびしい訓練から作り出されたものであり、その成果は本日の演奏に表れていると思います。

これまでのモーツァルトをはじめとした作品の上演と異なり、今回は日本で創られた作品となります。また、ヨーロッパのオペラがルネサンス後期から生まれて絢爛豪華なものとなりながら、またそれを楽しむ人も貴族からやがて大衆へと広まりながらも、その実オペラ愛好家は一部に止まってしまいました。ヨーロッパとは違う土壌で、それなりの方法で楽しんできた日本のオペラも、どちらかと云えば、その歴史から云えば内容は違っていても傾向は似ていて、大作主義的なものの考え方があり、それらの作品は上演回数は多くなく、永く上演され続けることが出来ないのが問題です。その中であって、「夕鶴」「あまんじゃくとりこ姫」そして今回の「笠地蔵」のような民話の小作品で、民衆の身近な物語が圧倒的に上演されてきたのです。

オペラを杓子定規的に考えすぎずに広く考えるのも一つの方法でしょう。

本日はこのオペラの他、「邦人作曲家の世界」と題して四人の歌い手による演奏もごございます。どうぞお楽しみ下さい。



ごあいさつ



富山県オペラ協会会長

安念 千重子

本日はご来場いただき誠にありがとうございます。富山県オペラ協会は発足後6年目を迎えております。とやま舞台芸術祭参加として、旗揚げ公演の「フィガロの結婚」、指揮者以外はすべて地元で！との実験的な意味での「ヘンゼルとグレーテル」の公演を経て、一昨年、初めてオーバード・ホールにての「魔笛」公演は多くの聴衆の皆様より好評をいただきました。試行錯誤を重ねながらの年月を経て、今回は初めて日本のオペラに取り組みました。

昔ばなしとして、誰もが知っている心温まる題材。今回はその台本作者の中村敬一氏の演出、作曲家・松井和彦氏自身の指揮という滅多にない陣容で、公演が出来ることは、この上ない幸せなことです。

さまざまな人材で構成する当オペラ協会合唱団、設立後まだ2年ですが、幕開けから終幕まで出ずっぱりの分量を担う大役なのです。4月から音楽稽古を始め、8月から立ち稽古に入りましたが、回を重ねる毎に、目を見張る成長をしてくれています。松井和彦先生、中村敬一先生の現場に即した魅力あふれるご指導のもと、出演者、関係者一同の情熱がひとつになり、富山ならではの作品になることと期待しております。オペラ「笠地蔵」に先立ち、第一部では「邦人作曲家の世界」と題して4名の作曲家の歌曲を4名のベテラン歌手がお届けしますのでお楽しみください。

それでは皆様の温かい励ましのお心を拍手に変えて本日の出演者に賜りますようお願い致します。



ごあいさつ



作曲・指揮

松井 和彦

本日はご来場ありがとうございます。

私は恥ずかしながら、子供の頃は「笠地蔵」というお話を知らず、大人になったある時、この話が「子供たちによる昔話の人気投票第一位」と知り、慌てて読んで激しく心打たれ、「第一位」におおいに納得したものです。特に、雪深い老夫婦宅への六地蔵の来訪シーンは、宇宙人の襲来にも似た未来的な、鮮烈な印象を持ちました。自分自身がその場でそれを体験したいような…そんな時、幸運にも、東京二期会（オペラ団体）の合唱団から、「合唱が活躍するオペラ」の依頼を受け、迷わずこのお話を選んだ次第です。演出家、中村敬一氏の台本は、とても「音楽を呼ぶ」もので、すらすらと作曲できた記憶があります。

初演時はナレーションは市原悦子さんをお願いしたのですが、今回は、初演で「ばあさま」を歌って下さった、安念千重子さんのナレーション、プロデュースで、富山の皆さんと上演が出来ること、そして富山の皆さんに聴いて頂けること、とても嬉しく思っております。富山には超快適・快速な北陸新幹線で毎月稽古に通いましたが、出演者の皆さんのまっすぐで温かい歌声に何度となく癒され、励まされました。

では、同じ12月とはいえ、少し早いですが「大晦日の奇蹟」をお楽しみいただければ幸いです。



ごあいさつ



台本・演出

中村 敬一

「声の奇跡」による「大晦日の奇蹟」 オペラ「笠地蔵」

いつの間にかオペラは高価で敷居の高いものになってしまった。確かに見あげるような豪華なセットや絢爛たる衣裳、斬新な読み替えもオペラの楽しみには違いない。しかし、オペラの原点とも言うべき声～言葉と歌がなにか置き去りにされているように思えるのだ。おじいさんとおばあさんと6人の地蔵、そして混声合唱。このお話を進める一人のナレータの声。これだけで何が出来るのか？ いや、「大晦日の奇蹟」をおこさせるには、これで十分なのだ。

「笠地蔵」の台本を松井和彦氏に提供してオペラが出来上がるのが25年前にもなる1992年。ウィーンでの在外研修を終えて帰ってきてすぐのことだった。松井さんと青春を語るように確認しあったことは「公演の帰りにそのメロディーと歌詞を口ずさめるようなオペラを作ろう」だった。

6年前に富山で動き出した新しいオペラの活動。代表の安念さんからは、会の発足の折から、資料や活動報告を頂いてきた。安念さんは「笠地蔵」の初演のおばあさんだ。その6年目で「笠地蔵」を取り上げると聞き、ぜひ、演出をさせていただきたいと手を上げた。まずは稽古場で出演者たちが「声の奇跡」を感じて、それを舞台で結実させるのが「大晦日の奇蹟」を実現する唯一の方法だ。誰でも知っている「笠地蔵」のお話が、どこかで聞いたような懐かしさを覚える松井和彦さんの音楽に乗って「声の奇跡」で、降りしきる雪のように観客の皆様的心里に「大晦日の奇蹟」として降り積もりますように。



〈第一部〉

邦人作曲家の世界

〈平井康三郎・團伊玖磨・中田喜直・真島圭〉

中田喜直 作品

メゾ・ソプラノ：山本 千鶴 ピアノ：竹内 佳代

- すずしきうなじ……………(三好達治 作詩)
- 霧と話した……………(鎌田忠良 作詩)
- おやすみ……………(三木露風 作詩)
- ゆく春……………(小野芳照 作詩)

真島圭 作品

バリトン：竹内 雅拳 ピアノ：竹内 佳代

- 冬の旅……………(津村信夫 作詩)
- 早春散歩……………(中原中也 作詩)
- 孤独さということ……………(杉尾優衣 作詩)

團伊玖磨 作品

ソプラノ：金川 睦美 ピアノ：竹内 佳代

- 笛……………(萩原朔太郎 作詩)
- 与ひょう、私の大事な与ひょう……………(オペラ「夕鶴」より)
- さようなら……………(オペラ「夕鶴」より)

平井康三郎 作品

バリトン：黒崎 隆憲 ピアノ：玉井 恵子

- ふるさとの……………(石川啄木 作詩)
- 平城山……………(北見志保子 作詩)
- 祭もどり……………(北原白秋 作詩)
- 追分……………(北原白秋 作詩)
- あの子 この子……………(北原白秋 作詩)
- 九十九里浜……………(北見志保子 作詩)

〈出演者プロフィール〉



メゾ・ソプラノ：山本 千鶴

武蔵野音楽大学音楽学部声楽科卒業。声楽を松本明子、藤沼昭彦、森山京子、細見涼子の各氏に師事。オペラでは『フィガロの結婚』、『修道女アンジェリカ』、『ヘンゼルとグレーテル』(ハイライト版)等に出演の他、交響詩「めざめる羽 はばたく四季」新作初演ソリストを務め、東京フィルハーモニー交響楽団と共演、ルーマニア首都ブカレストのアテネ音楽堂にてGeorge Enescu Filarmonicaと共演。ハイドン「グレートオルガンミサ」モーツァルト「レクイエム」等アルトソリストを務めるなど、各種オペラ、コンサートに出演している。平成26年度富山県芸術文化協会奨励賞受賞。ヴォーカルユニット「Drops」、女声コンサート「風」のメンバーとしても活動をしている。藤原歌劇団準団員。富山県オペラ協会芸術会員。



バリトン：竹内 雅拳

東京藝術大学卒業。同大学院修了。ハンズオン「魔笛」パパゲーノ、富山県オペラ協会同役、浅草オペラ「ボッカチオ」タイトル、富山県文化振興財団「夕鶴」運ず、富山市民文化事業団「班女」吉雄、クラシックの半「電話」ベンを好演。「第九」等で東フィル、アンサンブル金沢等の共演も多い。ヴォーチェ・フォンターナ等5団体の合唱指揮者。富山うたごえ倶楽部主宰。JCDA日本合唱指揮者協会会員、同実行委員。日本声楽家協会正会員(日本声楽アカデミー会員)。同事務局長。富山県オペラ協会芸術会員。



ソプラノ：金川 睦美

武蔵野音楽大学声楽学科卒業。第九や宗教曲のソリストを多数務める。オペラでは「手古奈」の手古奈、「魔笛」パミーナ、「ジャンニ・スキッキ」ラウルック、「奥様女中」セルピーナ、「こうもり」ロザリンデ、「ラ・ボエーム」ムゼッタ等を演じる。OEKとともに歌う日本の歌、青島広志のモーツァルト物語他に出演、リサイタルも回を重ねている。第21回奏楽堂日本歌曲コンクール入選。高周波文化ホール専属アーティスト。富山県オペラ協会芸術会員・理事。



バリトン：黒崎 隆憲

国立音楽大学音楽学部声楽学科卒業。これまでに「第九」モーツァルトの「レクイエム」「戴冠ミサ」「メサイア」「カルミナ・ブラーナ」等のソリストを務める。オペラでは、『月の世界』『フィガロの結婚』『魔笛』『コシ・ファン・トゥッテ』『ドン・ジョヴァンニ』『アマールと夜の訪問者』『ヘンゼルとグレーテル』『蝶々夫人』『ジャンニ・スキッキ』『ラ・ボエーム』『こうもり』等に出演。現在、富山県立呉羽高等学校教諭、富山県オペラ協会副会長・芸術会員。



ピアノ：竹内 佳代

桐朋学園大学音楽学部演奏学科ピアノ科卒業。ピアノを大坪亮子、川島伸達、松本清、伴奏法を松本明子の各氏に師事。在学中に第3回中部シヨパン学生ピアノコンクール大学生部門金賞中日賞受賞。これまで富山、浜松、名古屋でリサイタルを開催。ソロ活動、室内楽、伴奏など幅広い演奏活動を展開。現在桐朋学園大学附属「子供のための音楽教室」富山教室講師。富山県オペラ協会芸術会員。



ピアノ：玉井 恵子

国立音楽大学器楽科ピアノ専攻卒業。黒田素子、奈良場恒美の両氏に師事。現在、県内を中心に演奏活動を行う傍ら、ピアノ教室「音絵会」を主宰。富山・高岡にてピアノリサイタル、ジョイントコンサートを開催。富山県立呉羽高等学校音楽コース非常勤講師。(公財)日本ピアノ教育連盟会員。

〈第二部〉

安念千重子プロデュース

オペラ 笠地蔵 大晦日の奇蹟

台本・演出：中村 敬一 作曲・指揮：松井 和彦

～おはなし～

雪のたいそう降りしきる深い深い山の中、今日は大晦日だというのに、
 じいさまとばあさまには、正月を飾る松飾りも、煮しめをつくる野菜も、新年を祝う餅もありません！
 そこで笠を作って町で売ることになりました。

意気揚々と町へでかけたじいさまですが、笠は一つも売れません。
 仕方なく、じいさまはまた笠を背負うと、もと来た道を村へ向かって歩き始めます。
 いつのまにか日はとっぷりと暮れ、雪はますます激しいのです。

ばあさまの待つ山あいまで来ると、そこには雪に埋もれかかった地蔵様が六人、寒そうにたたずんでおられます。
 じいさまはその頭に積もった雪を払い落とし、優しく撫でてあげました。

そして背負ってきた笠を一人一人の地蔵様にかぶせてあげたのです。ところが笠が一つ足りません！
 と、じいさまは、自分のかぶっていた手拭いを取ると、一番はじこの地蔵様にかぶせてあげました。

頭の手拭いも、土産の餅もないのに、じいさまの心は、ぼっぼとあったかいのです。
 事情をきいたばあさまは、がっかりするどころか、じいさまは良いことをしたねと温かくねぎらうのでした。
 その晩、二人が眠りに入った大晦日の深夜！ どんな奇蹟が起きたのでしょうか………！

キャスト

じいさま：吉森 祐也 ばあさま：護摩堂 若

六地蔵：加藤 恵 四津谷 泰子 碓井 智子 辰巳 陽彦 護摩堂 謙一 渡辺 洋輔

野菜売り：久田 潤 薬売り：黒田 雄一郎 魚売り：古村 勇樹 飾り売り：橋 日奈子 餅売り：高木 悦子

合唱：富山県オペラ協会合唱団 ピアノ：丸山 美由紀

ナレーション：安念 千重子 副指揮・合唱指揮：福田 光太郎

スタッフ

舞台美術：ザ・スタッフ(大道具、小道具、衣裳)

照明：渡部 佳子

照明操作：セットアップ

メイク：加藤 與志子

演出助手：荒木 晶子 西浦 由佳里

舞台監督：大澤 裕(ザ・スタッフ)

舞台監督助手：永田 順子 二葉 康夫 酒井 聡澄

大道具協力：千田木村

[制作スタッフ]

加藤 與志子 黒崎 隆憲 伊東 康孝 白銀 裕子 護摩堂 若 丸山 美由紀 谷村 清香 長谷 和美

[音楽スタッフ]

副指揮・合唱指揮：福田 光太郎

合唱指導：白銀 裕子

コレペティ：丸山 美由紀

稽古ピアノ：内田 陽子 大森 洲季 清水 慧衣

制作補佐：串田 淑子

プロフィール



台本・演出：中村 敬一

武蔵野音楽大学同大学院で声楽を専攻、後、舞台監督集団「ザ・スタッフ」に所属してオペラスタッフとして活躍。以後、鈴木敬介、栗山昌良、三谷礼二、西澤敬一各氏のもと演出の研鑽を積む。1989年より、文化庁派遣在外研修員として、ウィーン国立歌劇場にて、オペラ演出を研修。帰国後、リメイク版「フィガロの結婚」で、高い評価を得、二期会公演「三部作」、東京室内歌劇場公演「ヒロシマのオルフェ」、日生劇場公演「笠地蔵・北風と太陽」で、演出力が絶賛され、1995年、第23回ジローオペラ、新人賞を受賞。2000年3月には新国立劇場デビューとなった「沈黙」が、高く評価され、2001年ザ・カレッジ・オペラハウス公演「ヒロシマのオルフェ」では、大阪舞台芸術奨励賞を受賞。オペラの台本も手がけ、松井和彦作曲「笠地蔵」「走れメロス」、新倉健作曲「ボラーノの広場」「窓(ウィンドウズ)」などがある。国立音楽大学客員教授、大阪音楽大学客員教授、大阪教育大学講師、沖縄県立芸術大学講師。



作曲・指揮：松井 和彦

1951年、東京生まれ。三歳からピアノを、中学生時代から作曲を学び、東京藝術大学音楽学部作曲科卒業と同時に、東京二期会の専属音楽スタッフとなる。文化庁在外研修員として、バイエルン国立歌劇場で研修。オペラ「泣いた赤おに」で「これが処女作とは信じられない見事な手腕」と評され、ジローオペラ新人賞を受賞。ほかに「笠地蔵」「イソップオペラ三部作」「花咲かじいさん」等のオペラを作曲。作品は、文化庁、東京文化会館、日生劇場、横浜みなとみらいホール、横須賀芸術劇場、びわ湖ホール、アクロス福岡などの主催により、全国各地で頻繁に上演され、総上演回数は1000回に近づく。昨年より、「落語オペラシリーズ」に取り組み、第一作「目黒のさんま」は、伊勢市、札幌市、岡山市で上演され、伊勢市の初演では、客席からざわめき、どよめき、失笑、爆笑、手拍子、拍手などが、約75分の上演の間に181回巻き起こった。現在、第二作「宿屋の仇討ち」がほぼ完成し、第三作「井戸の茶碗」を構想中。東京芸術大学大学院、国立音楽大学大学院、各講師。



プロデュース・ナレーション
安念 千重子

東京藝術大学声楽科卒業。「カルメン」のタイトルロールをはじめ「蝶々夫人」「アイダ」「フィガロの結婚」「椿姫」「セヴィラの理髪師」「ウィリアム・テル」など、一方邦人作品では「黒船」「死神」「墓の上」「香妃」「ちゃんちき」「天守物語」「祝い歌の流れる夜に」「御柱」など。二期会をはじめ活躍の場は広く、音質の豊かさや安定した歌唱力、演技力には定評がある。その他ベートーヴェン「第九」、ヘンデル「メサイア」、ヴェルディ「レクイエム」、マラー「復活」「大地の歌」など多数。22年前、富山の生家に安念千重子声楽研究所を開設。以降富山と横浜を往来しながら音楽活動を続け、地域の文化活動にも積極的に取り組む。79年度 第7回ジローオペラ賞。平成8年度 北日本新聞文化賞。富山県功労賞受賞。二期会会員。横浜シティオペラ顧問。富山県オペラ協会会長。



じいさま：吉森 祐也

国立音楽大学音楽学部声楽科卒業。オペラでは、これまでに『ドン・ジョバンニ』『蝶々夫人』『ラ・ボエーム』『仮面舞踏会』などに出演。また、藤原歌劇団合唱部として数々のオペラや演奏会に合唱部の一員として参加し、研鑽を積んでいる。そのキャラクターを活かし、幅広いバリトンの役柄を演じている。声楽を渡辺多津彦、秋葉京子、黒崎隆憲の各氏に師事。現在、日本オペラ振興会藤原歌劇団準団員。富山県オペラ協会芸術会員。(株)ヤマハミュージックジャパン インストラクター。



ばあさま：護摩堂 若

昭和音楽大学短期大学部卒業。同大学専攻科、ディプロマコース修了。日本オペラ振興会オペラ歌手育成部第8期生修了。日本オペラ協会「天守物語」葛役でオペラデビュー。同協会「春琴抄」、「よさこい節」に出演。「ヘンゼルとグレーテル」、「ボッペアの戴冠」、「おこんじょうり」等のオペラに出演。ソリストの他、藤原歌劇団、日本オペラ協会のコーラスメンバーとして数多くのオペラに出演。藤原歌劇団団員。富山県オペラ協会理事・芸術会員。



六地蔵：加藤 恵

東京藝術大学音楽学部声楽科卒業。第2回高校生のための歌曲コンクール優秀賞を受賞し、イタリアへ短期留学。青少年音楽コンクール声楽部門最優秀賞。富山県高等学校文化連盟賞受賞。平成21年3月に初ソロリサイタルを行う。富山県オペラ協会第3回公演「魔笛」にパパゲーナ役で出演。平成27年度富山県芸術文化協会奨励賞を受賞。これまでに関定子、鈴木寛一、大島洋子、松本美和子、黒崎隆憲、小松由美子の各氏に師事。富山県オペラ協会芸術会員、富山県音楽協会会員。



六地蔵：碓井 智子

武蔵野音楽大学音楽学部声楽科卒業。東京藝術大学別科声楽専修修了。ウィーン国立音楽大学夏期セミナー参加。ハンス・ホッター教授、ヨセフ・ロイブル教授による「マスタークラス」修了。第14回ソレイユ新人オーディション合格(優秀賞)。友愛ドイツ歌曲(リート)コンクール第2位受賞。オーケストラ・アンサンブル金沢首席チェロ奏者ルドヴィート・カンタ氏をはじめ、ピアニスト、ヴォルフラム・リーガー氏と共演。富山県立呉羽高等学校音楽コース非常勤講師、富山県オペラ協会理事・芸術会員、日本ドイツリート協会会員。



六地蔵：護摩堂 謙一

武蔵野音楽大学卒業。同大学院修了。内山太一、及川槿、松下武史、D.リゲティの諸氏に師事。在学中より藤原歌劇団、日本オペラ協会のコーラスメンバーとして数多くのオペラに出演。「フィガロの結婚」(バジリオ)、「ドン・ジョバンニ」(ドン・オッターヴィオ)、「十五夜物語」等のオペラに出演。富山市民プラザオープニング記念コンサート、オペラや各種コンサートのソリストとして活躍。富山県オペラ協会理事・芸術会員。



副指揮・合唱指揮：福田 光太郎

東京藝術大学卒業。東京音楽大学大学院およびウィーン・コンセルヴァトリウム音楽大学にて指揮を専攻。藝大在学中より指揮活動を始め、市民オペラ団体などで副指揮者、合唱指揮者として経験を積む。今年ミュージカル「ジキル&ハイド」や東京ディズニーシー15周年「ザ・イヤー・オブ・ウィッシュ」イン・コンサートの指揮者を務めるなど、多方面で活躍している。平成26年度北日本新聞文化賞芸術選奨受賞。富山県オペラ協会芸術会員。



六地蔵：四津谷 泰子

洗足学園大学音楽学部声楽専攻卒業。二期会オペラ研究所修了。短期大学を首席で卒業し、卒業演奏会に出演。富山県オペラ協会公演「ヘンゼルとグレーテル」(グレーテル)、ニューイヤーガラコンサートなどに出演。その他オペラでは、「小さな煙突掃除」(サム)、「フィガロの結婚」(バルバリーナ)、「ドン・ジョヴァンニ」(ツェルリーナ)、コンサートではモーツァルト「悔悟するダヴィデ」ソプラノソロ等を務める。二期会会員。富山県オペラ協会芸術会員。



六地蔵：辰巳 陽彦

国立音楽大学声楽科卒業。1998年、1999年 富山県青少年音楽コンクールで優秀賞受賞。日本クラシック音楽コンクールで好演賞受賞。2007年からイタリアに渡り、ベルカント唱法を学び2015年に帰国。2016年に帰国リサイタルを開催。現在、女声合唱団「こーろ・リベル」の常任指揮者。伊林直美、黒崎隆憲、山田純彦、大野光彦、G・ロールミ、G・ヴェンディッテッリ各氏に師事。現在、富山県オペラ協会芸術会員。



六地蔵：渡辺 洋輔

東京藝術大学音楽学部声楽科卒業。声楽を黒崎隆憲、長谷川顕、牧野正人、千代崎元昭の各氏に、ピアノを山崎道子、平井丈二郎の両氏に師事。これまでにオペラでは「アッティラ」エツィオ、「フィガロの結婚」アルマヴィーヴァ伯爵、「魔笛」弁者、「ジャンニ・スキッキ」ペット、「カルメン」エスカミーリョ、「こもり」ファルケ等で出演の他、メサイアやモーツァルトのレクイエム等の宗教曲や第九のソリストを務める。第26回富山県新人演奏会北日本新聞音楽奨励賞、富山県知事賞受賞。富山県オペラ協会芸術会員。現在、高岡第一学園高岡第一高校教諭。



ピアノ：丸山 美由紀

ウィーン国立音楽大学、同大学院修士課程を修了。在学中より国内外にて演奏活動を始める。帰国後は富山県内を中心に、ソロリサイタル、オーケストラとの共演など数々のコンサートで活動中。古典から近代までそのレパートリーは幅広く、多くのリサイタルプログラムやコンチェルト・レパートリーを持つ。これまでにCDを2枚リリースしている。平成24年度富山県芸術文化協会奨励賞、平成28年度富山県芸術文化協会創立45年記念奨励賞受賞。富山県オペラ協会理事・芸術会員。公式サイト <http://miyukimaruyama.main.jp>



野菜売り：久田 潤

富山大学教育学部卒業。小学校教員となり、子どもたちと歌い続ける中で、自らも積極的にオペラ等に参加して表現を追求している。最近はおバード・ホールのミュージカル名作シリーズにも連続して出演し、表現の幅を広げようと努力している。富山県オペラ協会芸術会員。



魚売り：古村 勇樹

国立音楽大学声楽科卒業。声楽を田口興輔に師事。高岡市民文化振興事業団、高岡市万葉歴史館主催のコラボレーション事業Ⅲ/2006「マンヨウノウタ」で海外の作曲家達が万葉歌を素材に創作した楽曲を日本で初演した。他に第二回・第三回みんなで歌おう高岡「第九」ソリストや街角オペラ、各種コンサートに出演。現在、高岡第一学園幼稚園教諭・保育士養成所 准教授、富山県声楽家協会、高岡市芸術文化団体協議会員。



餅売り：高木 悦子

女声合唱団「コール・あい」所属。滑川市主催の「モーツァルト生誕250年記念コンサート」「滑川バロック音楽祭」「市制60周年記念コンサート」や「県民芸術文化祭」「滝廉太郎富山音楽祭」などに参加。文科省「優れた劇場・音楽堂からの創造発信事業」オペラ「カルメン」に出演。滑川市出身の音楽家・高階哲夫氏の功績を顕彰するため「高階哲夫を歌い継ぐ市民の会」の事務局を担当し、「高階哲夫音楽祭」の企画をしている。



菓売り：黒田 雄一郎

新潟大学教育学部特別教科(音楽)教員養成課程卒業。黒崎隆憲、箕輪久夫、橋本静一、上野正人の各氏に師事。在学中よりオペラ「フィガロの結婚」の伯爵、バルトロ、《魔笛》の弁者などを演じる。今年1月には富山県声楽家協会特別公演オペレッタ《こもり》のプリント博士を演じる。また、モーツァルト作曲、《雀のミサ》、《戴冠ミサ》等、多数の合唱団のソリストを務める。第6回東京国際声楽コンクール準選出場。富山県声楽家協会会員。



飾り売り：橋 日奈子

静岡県浜松市出身、富山大学人文学部卒、射水市在住。小学校の担任の先生の勧めで合唱を始め、演奏会のソロやオペレッタの主演を務める。高校合唱部では海外演奏旅行、コンクール全国大会出場などを経験、大学合唱団ではコンクール全国大会に3度出場している。2010年より島果奈江氏にボーカルを師事。2013年に申田淑子氏に出会い、以来声楽を師事。詩音の会会員、富山県オペラ協会合唱団シニア会員。

合唱

富山県オペラ協会合唱団



- | | | | | | | |
|-------|--------|--------|--------|-------|--------|-------|
| 井内 学 | 石野 雅子 | 上田 慎一 | 雄川 邦代 | 奥野 知子 | 重松 秀子 | 木村 直子 |
| 熊倉 理子 | 黒田 絵利奈 | 黒田 雄一郎 | 紺屋 範雄 | 下村 正治 | 千先 まさ枝 | 高木 悦子 |
| 高野 夏美 | 武内 博康 | 谷村 清香 | 中野 多賀子 | 中野 裕 | 橋 日奈子 | 長谷 和美 |
| 林 美和子 | 久田 潤 | 古村 勇樹 | 水上 克美 | 村田 彩子 | 村田 正信 | 村椿 尚美 |
| 本吉 規子 | 森谷 一恵 | 吉澤 良祐 | | | | |

次回公演予定

[第6回] ニューイヤー オペラ ガラコンサート 「カルメン・ハイライト」

2017年1月29日(日) 14:00 富山県教育文化会館